

# 2017 年度事業報告

自 2017 年 4 月 1 日

至 2018 年 3 月 31 日

# I. 2017 年度総括

2017 年度の国内経済を振り返ると、雇用・所得環境の改善が続くなかで景気は緩やかに回復してきた。実質国内総生産(実質GDP)成長率は 1.7%、名目国内総生産(名目GDP)成長率は 1.5%となっている。

個人消費には弱さが残るものの、Eコマースは拡大。経済産業省によると 2017 年の国内 B to C-EC 市場は 16.5 兆円を突破し、2018 年以降も勢いを増している。

訪日外国人客数の急増も注目された。2017 年の訪日外国人客数は前年比 19.3%増の 2869 万人となり、過去最高を更新。外国人旅行者消費総額も前年比 17.8%増の 4 兆 4161 億円で 5 年連続して過去最高を更新し、国内経済に好影響を及ぼした。

景気回復が続く一方で人手不足が深刻化した。就業者として女性やシニアが増えているものの、なかなか人手は充足せず、対策として省力化のための設備投資を積極的に増やす企業も見られる。

SC業界に目を向けると、2017 年は前年の 54 には及ばなかったものの 48SCが新たにオープンし、日本全国のSC総数は 3,217 ヶ所となった。オープンSCの中身をみると、愛知、東京など大都市圏での開発が盛んだった一方、岩手県や宮城県の東日本大震災の被災地復興として開発されたSCも注目された。

中心部において百貨店からの業態転換によるSC化も耳目を集めた。また、退店した店舗の建物を利用してSCが出店する、あるいは旧店舗を建て替えてSCとしてオープンするケースもあり、商業環境の変化が激しいなかで、新たにSCとして再出発している。

こうした状況のもと 2017 年のSC売上げは既存SCで前年比+0.6%となり、全SCベースでの年間総売上高(推計)は、32 兆 355 億円で前年比+2.3%となった。

さて、当協会は 2017 年度、事業の根幹である会員サービスのいっそうの充実に取り組んできた。とくに人手不足が深刻化するなか、SCのテナント従業員の人材確保対策をテーマに企画を組んで月刊誌やセミナー等を通じて会員企業の取組みを支援したほか、テナント従業員のステータス向上を目指す協会資格のSC接客マイスターは受験者が着実に増え、お陰さまで資格者が前年度の 585 人から 800 人超に拡大する見込みだ。

さらに、人材確保対策特別委員会を新たに設置して対策を推し進めており、「ショッピングセンターにおける ES 宣言・行動指針」を 2018 年 1 月、第 42 回日本ショッピングセンター全国大会にて発表した。これを受けて、会員企業と協会が一体となってこの問題に取り組んでいく。

このほか、SCの業界団体として公共政策的施策への対応にも注力し、税制改正要望書の提出や、省エネベンチマーク制度の検討WG、プレミアムフライデー推進協議会、2020 オリンピック・パラリンピックに向けた多言語対応協議会等の外部委員会に参画し、意見具申を行った。

こうした活動の甲斐あって 2017 年度末の会員数は目標の 980 社となった。

## Ⅱ. 総会、理事会、企画会議

### 1. 定期総会<5月25日>

- ①2016年度事業報告について
- ②2016年度決算報告について
- ③2017年度事業計画について
- ④2017年度収支予算について
- ⑤人材確保対策への取組みについて
- ⑥役員報酬限度額の承認について
- ⑦第22期理事・監事の選任について
- ⑧第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞の選考結果について

### 2. 理事会

#### (1) 第1回理事会(4月26日)

- ①入会、退会について
- ②委員会の再編について
- ③2016年度事業報告について
- ④2016年度決算報告について
- ⑤2017年度事業計画について
- ⑥2017年度収支予算について
- ⑦人材確保対策への取組みについて
- ⑧第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞の選考結果について
- ⑨事務局組織の再編について
- ⑩役員報酬限度額の承認について
- ⑪第22期理事・監事の選任について
- ⑫第45回定期総会の開催について

#### (2) 第2回理事会(5月25日)

- ①会長、副会長、専務理事の選任について
- ②事務局長の任免について
- ③相談役、顧問の推薦について
- ④専門委員会委員の任命、支部長の委嘱について
- ⑤「企画会議」委員の委嘱について

#### (3) 第3回理事会(10月27日)

- ①入会、退会について
- ②2017年度上半期事業報告について
- ③2017年度上半期収支報告について
- ④人材確保対策の取組みについて
- ⑤第46回定期総会の開催について
- ⑥第43回日本SC全国大会の開催について
- ⑦2018年度税制改正要望について

### 3. 企画会議

#### (1)第1回企画会議(10月20日)

- ①入会、退会について
- ②2017年度上半期事業報告について
- ③2017年度上半期収支報告について
- ④人材確保対策の取組みについて
- ⑤第46回定期総会の開催について
- ⑥第43回日本SC全国大会の開催について
- ⑦2018年度税制改正要望について

#### (2)第2回企画会議(3月27日)

- ①入会、退会について
- ②人材確保対策への取組みについて
- ③第8回日本SC大賞・第6回地域貢献大賞について
- ④委員会組織の一部見直しについて
- ⑤2017年度事業活動総括、2018年度事業計画について
- ⑥2017年度収支見込み、2018年度収支予算について
- ⑦第46回定期総会の開催について

### Ⅲ. 支部活動報告

(2017年4月～2018年3月)

| 支部名   | 活動報告   |
|-------|--|
| 北海道支部 | <p>(1) 運営委員会<br/>           ① 第1回(9月8日・榺4丁目プラザ役員室)<br/>           (2) 北海道万引防止ウィーブネットワーク定期総会(6月)<br/>           (3) SC接客ロールプレイングコンテスト 北海道大会(11月10日・JRタワープラニスホール)<br/>           出場者43名(前年度43名)<br/>           (4) 支部主催研修会(2018年2月27日・JRタワーオフィスプラザさっぽろ)<br/>           テーマ: 駅・まち・ものづくりとSC～職住一体の新しい形を模索する～<br/>           講師 : 名古屋市立大学 研究員 池澤 威郎 氏<br/>           参加者数: 97名<br/>           (5) 支部総会(3月20日/札幌グランドホテル)</p>  |
| 東北支部  | <p>(1) 運営委員会<br/>           ① 第1回(6月22日・ホテルメトロポリタン盛岡)<br/>           ② 第2回(10月11日・ホテルメトロポリタン盛岡)<br/>           ③ 第3回(2月23日・ホテルメトロポリタン仙台)<br/>           (2) 接客ロープレ研修会(10月3日・ホテルメトロポリタン仙台) 参加者39名<br/>           テーマ: 「SC接客ロールプレイングコンテスト東北大会(11/1・2)に向けて」<br/>           講師: 内倉 広輔 氏(株JTBコミュニケーションデザイン<br/>           HRソリューション事業部ホスピタリティマネジメント局局長兼チーフコンサルタント)<br/>           三浦 紀映 氏(お茶の井ヶ田 喜久水庵 セルバ店)<br/>           ※第22回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会<br/>           食品・飲食・サービス部門 優勝<br/>           (3) 秋の研修会&amp;懇親ゴルフコンペ 参加者30名<br/>           (10月11日～12日・ホテルメトロポリタン盛岡、盛岡ハイランドカントリークラブ)<br/>           テーマ: 「44歳のチアリーダー ～人はいくつになっても輝ける!～」<br/>           講師: 小野寺 真栄子 氏(楽天ゴールデンエンジェルス 初代チアリーダー)<br/>           (4) SC接客ロールプレイングコンテスト東北大会(11月1日～2日・ホテルメトロポリタン仙台)<br/>           出場者60名(前年度63名)<br/>           (5) 支部総会(2月23日・ホテルメトロポリタン仙台) 参加者56名<br/>           ・新春講演会<br/>           テーマ: 「日本の社会、経済の課題そして近未来予測～SCのあるべき姿とは～」<br/>           講師: 須賀 千鶴 氏(経済産業省 商務グループ政策企画委員)<br/>           ・賀詞交歓会</p> |

関東・甲信越  
支部

- (1)運営委員会
  - ①第1回(7月19日・協会会議室)
  - ②第2回(12月1日・協会会議室)
- (2)SC接客ロールプレイングコンテスト関東・甲信越大会
  - ①関東・甲信越大会(9月5～8、11、12日) KFCホール 出場者300名(前年度292名)
  - ②東京大会(9月25～28日) KFCホール 出場者190名(前年度197名)
- (3)SC業界若手育成研究会
  - ①第9回SC業界若手育成研究会  
「トリエ京王調布・サンリオピューロランド視察&研修会」(11月29日)参加者31名
    - 1)トリエ京王調布 視察
      - ・ご担当者からの説明
      - ・SC視察(各自昼食)
    - 2)サンリオピューロランド 視察
      - ・館内視察
      - ・ご担当者からの説明
    - 3)参加者交流会
  - ②第10回SC業界若手育成研究会  
「改正都市公園法で変わるパークマネジメント～公園は『経営』の時代に～」(2月15日)  
参加者78名
    - 1)基調講演(14:35～15:45)  
「改正都市公園法と、改正後の最新動向について」  
国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 課長 町田 誠 氏
    - 2)事例1(15:55～16:35)  
「天王寺公園エントランスエリア『てんしば』」  
近鉄不動産(株) アセット事業本部 ハルカス運営部 部長 白井 宏佳 氏
    - 3)事例2(16:40～17:20)  
「南池袋公園『Racines FARM to PARK』」  
(株)船場 CD統括部 プロジェクトマネージャー 小西 龍人 氏
- (4)単館SC研究会
  - ①第22回単館SC研究会(赤羽地区視察、6月30日)
  - ②第23回単館SC研究会(8月24日)
  - ③第24回単館SC研究会(12月11日)
  - ④第25回単館SC研究会(3月29日)
- (5)支部主催研修会
  - ①「モリパーク アウトドアヴィレッジ視察」(10月24日)
    - 1)レクチャー・質疑応答  
「モリパーク アウトドアヴィレッジ 施設概要」  
講師:昭和飛行機工業株  
リアルエステート事業部賃貸施設1部 部長 高橋 佐登志 氏
    - 2)館内視察
    - 3)参加者交流会
  - ②～“競合”から“協同”へ～「お台場地区の集客戦略と  
今後のインバウンド対応を考える」(11月15日)参加者62名  
(第1部)単独講演会  
～”爆買い”の終焉～  
「激変するインバンド消費の実情と新たなアプローチを考える」  
ぴあ(株) インバウンド事業室 室長 宮崎 裕二 氏  
(第2部)パネルディスカッション 16:45～17:50  
【お台場地区4SC販促担当パネルディスカッション】  
～“競合”から“協同”へ～  
「お台場地区の集客戦略と今後のインバウンド対応を考える」  
(パネリスト) (企業名50音順)  
東急不動産SCマネジメント(株) デックス東京ビーチ

|  |  |
|--|--|
|  | <p>三井不動産商業マネジメント(株) ダイバーシティ東京プラザ<br/> 三菱地所リートールマネジメント(株) アクアシティお台場<br/> 森ビル(株) ヴィーナズフォート<br/> 各社から販促ご担当者1名<br/> (コーディネーター)<br/> (株)西武プロパティーズ 商業企画部 マネジャー 島田 隆 氏<br/> (第3部)参加者交流会</p> <p>(6)支部総会(3月6日・協会会議室) 参加者 46名<br/> (第1部)支部総会<br/> (第2部)講演会 「テクノロジーの活用とSCの未来」<br/> 講師:富田 直美 氏 ハウステンボス(株) 取締役 CTO<br/> (株)hapi-robo st 代表取締役社長</p> <p>(第3部)懇親会</p> |
|--|--|

|             |  |
|-------------|--|
| <p>中部支部</p> | <p>(1)運営委員会<br/> ①第1回(7月27日・三交不動産(株) 賃貸事業部 会議室)<br/> ②第2回(11月24日・JR ゲートタワー カンファレンス)</p> <p>(2)支部主催研修会(11月24日・JR ゲートタワー カンファレンス) 参加者 86名<br/> テーマ「名古屋駅地区の商業エリアとしての過去・現在・未来<br/> ～3大物件の開発プロセスとこれからのエリア発展に向けて～」<br/> 講師:田代務不動産鑑定コンサルタント事務所 田代 務 氏<br/> 三菱地所(株) 名古屋支店 専任部長 嶋尾 太郎 氏<br/> 日本郵政(株) 不動産部門 不動産企画部 部付部長 本間 徹 氏<br/> (株)ジェイアール東海高島屋 取締役 ゲートタワーモール 事業部長 林田 明雄 氏</p> <p>(3)SC 接客ロールプレイングコンテスト中部大会(10月11～12日・名古屋市中小企業振興会館)<br/> 出場者 114名 (前年度 100名)</p> <p>(4)支部総会(3月15日・AP名古屋) 参加者 62名<br/> 記念講演会:SC 開発ラッシュの中部圏 新しい郊外像を探る～プライムツリー赤池の取り組み～<br/> 講師:(株)SC&amp;パートナーズ 代表取締役 西山貴仁 氏<br/> (株)セブン&amp;アイ・クリエイトリック プライムツリー赤池支配人 石渡 誠 氏</p> |
|-------------|--|

|      |  |
|------|--|
| 近畿支部 | <p>(1)運営委員会</p> <p>①第1回運営委員会(7月31日(月) 大阪ターミナルビル(株)会議室)</p> <p>②第2回運営委員会(12月25日・大阪ターミナルビル(株)会議室)</p> <p>③臨時運営委員会(3月19日・ホテルグランヴィア大阪)</p> <p>(2)単館SC交流会</p> <p>①キックオフ会(11月16日 阪急ターミナルビル9階会議室 参加者23名)</p> <p>②第1回(2月8日 大川創業(株)会議室 参加者11社21名)</p> <p>(3)SC研究会</p> <p>①第1回(7月5日 ルクアイーレ9階研修室)</p> <p>テーマ:『SCを育てる～梅田を中心とした大阪の商業～』</p> <p>講師:JR西日本SC開発(株) 代表取締役社長 山口 正人 氏</p> <p>②第2回(9月13日 大阪ターミナルビル(株) 会議室)</p> <p>テーマ:『女性目線のSCづくり～ママにとって心地のよいSC～』</p> <p>講師:(株)船場 シニアデザイナー 宗本 陽子 氏</p> <p>③第3回(12月8日 大阪ターミナルビル(株) 会議室)</p> <p>テーマ:『業界紙ライターが読み解く流通トレンド A to Z』</p> <p>講師:フリーライター 橋長 初代 氏</p> <p>④第4回(3月23日 神戸地区のSC視察)</p> <p>視察先:イオンモール神戸南、神戸ハーバーランドumie、プリコ神戸等</p> <p>(4)SC接客ロールプレイングコンテスト近畿大会(10月2日～5日)</p> <p>ホテル京阪京橋グランデ 出場者186名(前年度166名)</p> <p>(5)支部総会(3月19日・ホテルグランヴィア大阪)</p> <p>①支部総会</p> <p>②SCフォーラム</p> <p>講演:アメリカ流通事情に見る、我が国SCの今後<br/>～アメリカ流通のAI、ICTの活用を知る～</p> <p>講師:野村総合研究所 産業ITイノベーション本部<br/>主席コンサルタント 知的資産編集委員 辻 直志 氏</p> <p>③懇親会</p> |
|------|--|

|             |  |
|-------------|--|
| 中国・四国<br>支部 | <p>(1)運営委員会</p> <p>①第1回(8月9日・山陽SC開発(株) 会議室)</p> <p>②第2回(11月30日 中国SC開発(株) 会議室)</p> <p>③第3回(3月13日・山陽SC開発(株) 会議室)</p> <p>(2)SC接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会(11月7日～8日)</p> <p>広島YMCAホール 出場者88名(前年度86名)</p> <p>(3)研修会&amp;懇親会(11月30日・アッセホール、ホテルグランヴィア広島)</p> <p>テーマ:カープ野球に学ぶ「型破り集客マーケティング」</p> <p>講師:作家 迫 勝則 氏</p> <p>(4)支部総会・講演会(3月13日・山陽SC開発(株) 会議室、ホテルグランヴィア岡山)</p> <p>講演会テーマ:『テナントとディベロッパーの新たなパートナーシップを探る』パートⅢ</p> <p>パネリスト</p> <p>(株)大創産業 執行役員 店舗開発本部 副本部長 渡邊 有和 氏</p> <p>(株)マックハウス 営業統括本部 店舗開発本部 店舗開発部長 坂下 和志 氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>(株)リゾーム 専務取締役 金藤 純子 氏</p> |
|-------------|--|



|             |  |
|-------------|--|
| 九州・沖縄<br>支部 | <p>(1)運営委員会<br/> ①第1回(9月4日・ソラリアプラザ内会議室)</p> <p>(2)SC経営強化セミナー 参加者 61名<br/> テーマ:『銀座の誇りと歴史性を引き継ぎ、6つ星級の施設を目指す「GINZA SIX」の<br/> 開業について』</p> <p>講師:GINZA SIX リテールマネジメント(株) 取締役 高野 稔彦 氏</p> <p>(3)SC接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会(11月14日～15日・西鉄ホール)<br/> 出場者 89名 (前年度 80名)</p> <p>(4)支部総会(3月5日・ソラリア西鉄ホテル)<br/> SC経営強化セミナー 参加者 68名<br/> テーマ:『中目黒高架下におけるテナントミックス・リーシングの取り組み』<br/> 講師:東京急行電鉄(株)都市創造本部 運営事業部 営業三部事業推進課 課長補佐<br/> 杉本 里奈 氏</p> |
|-------------|--|

## IV. 委員会事業報告

### 1. 総務委員会

#### 1. 委員会開催状況および審議事項

##### 【総務委員会】

##### (1) 第1回委員会<7月26日>

- ①入会、退会について
- ②会員拡充について
- ③SC大賞・地域貢献大賞制度について
- ④人材確保対策への取組み推進について
- ⑤2017年度第1四半期事業報告について
- ⑥2017年度第1四半期収支報告(暫定版)について

##### (2) 第2回委員会<10月18日>

- ①入会、退会について
- ②2017年度上半期事業報告について
- ③2017年度上半期収支報告について
- ④人材確保対策への取組みについて
- ⑤日本SC大賞・地域貢献大賞の検討について
- ⑥第46回定期総会の開催について
- ⑦第43回日本SC全国大会の開催について
- ⑧2018年度税制改正要望について
- ⑨その他

##### (3) 第3回委員会<3月14日>

- ①入会、退会について
- ②人材確保対策への取組みについて
- ③第8回SC大賞・第6回地域貢献大賞について
- ④委員会組織の一部見直しについて
- ⑤2017年度事業活動総括、2018年度事業計画について
- ⑥2017年度収支見込み、2018年度収支予算について
- ⑦第46回定期総会の開催について

##### 【人材確保対策特別委員会】

##### (1) 第1回委員会<10月6日>

- ①人材確保の取組みの現状について
- ②委員企業の取組みについて
- ③協会における人材確保対策の考え方及び方向性について
- ④今年度の取組み事項について

##### (2) 第2回委員会<12月4日>

- ①ES宣言(案)及び行動指針(案)について
- ②人材確保対策取組みメニュー(理事会後修正版)について
- ③記者会見の実施について

(3) 第3回委員会<2月21日>

①ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針について(記者説明会)

②ES宣言・行動指針に基づく今後の活動について

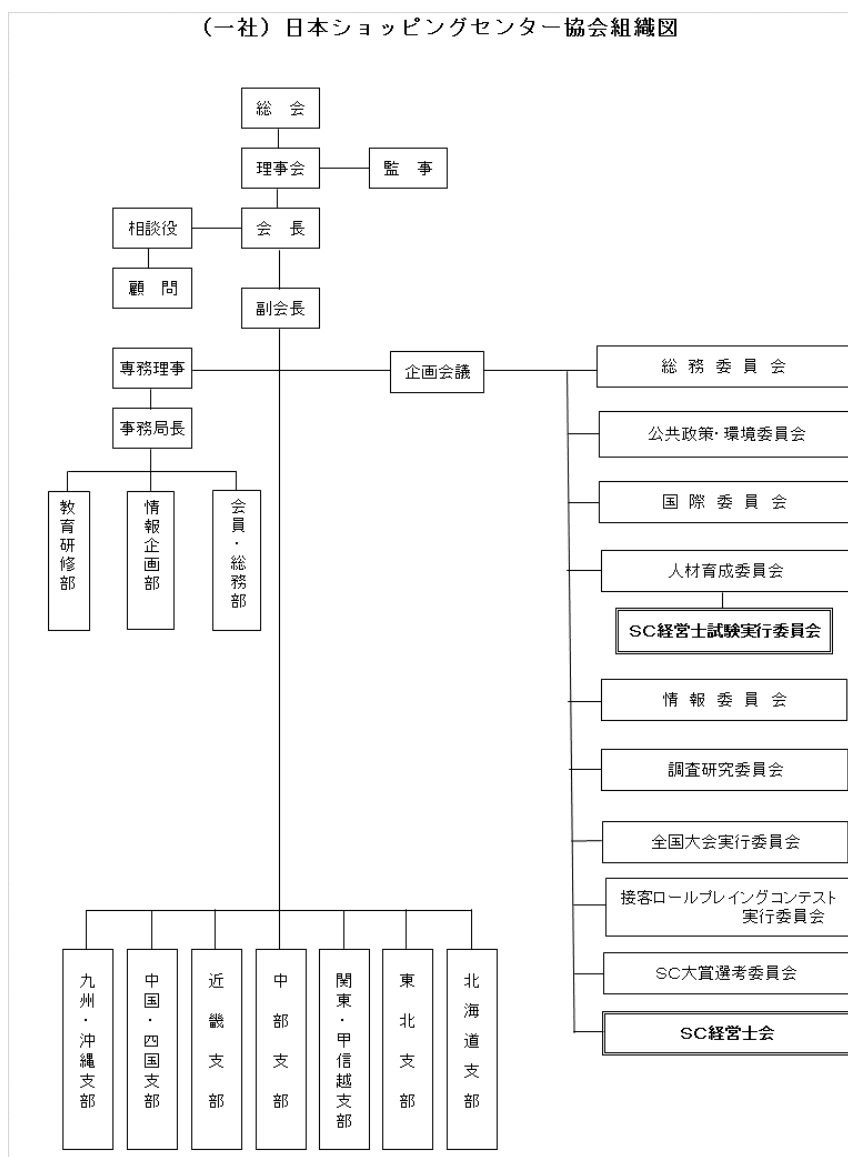
## 2. 主な活動報告

総務委員会では、主に次の項目について審議をおこない、企画会議に諮った。

- (1) 会員の入退会と会員サービスについて
- (2) 人材確保対策の取組み推進について
- (3) SC大賞・地域貢献大賞制度について
- (4) 2017年度事業活動総括、2018年度事業計画について
- (5) 2017年度収支見込み、2018年度収支予算について
- (6) 委員会組織の一部見直しについて(下記参照)

SC経営士委員会の改編について、2018年度第1回理事会にて審議した結果、下記のとおり委員会組織を改変することとなった。

- ・SC経営士会を委員会と同列に位置づけ、自律的かつ機動的に活動する
- ・人材育成委員会の下にSC経営士試験実行委員会を置き、試験関係を所管する。
- ・SC経営士委員会の事業を移管することで、SC経営士委員会を発展的に解散する。



## 2. 公共政策・環境委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### (1) 第1回委員会<7月11日>

- ①2017年度公共政策・環境委員会事業計画スケジュール(案)
- ②2018年度税制改正要望について
- ③プレミアムフライデーへの対応について
- ④改正民法(債権法)説明会について
- ⑤エネルギー関連(ベンチマーク制度)ワーキンググループの立ち上げと検討状況について
- ⑥2017年度エネルギー調査の実施について
- ⑦2017年度クールシェア、ウォームシェアへの参加について

#### (2) 第2回委員会<12月6日>

- ①プレミアムフライデーへの対応について
- ②「心のバリアフリー」の取組みへの協力について
- ③ベンチマーク制度について
- ④復興支援の取組みについて

#### (3) 第3回委員会<3月7日>

- ①2018年度公共政策・環境委員会基本方針及び事業計画骨子(案)
- ②2018年度公共政策・環境委員会収支予算(案)

## 2. 主な活動報告

### (1) 総括

公共政策・環境委員会の2017年度事業で最大の項目は、ショッピングセンター業界のベンチマーク制定のための資源エネルギー庁による2017年度の「工場等判断基準ワーキンググループ取りまとめ(案)」策定への協力であった。協会内部に専門のワーキンググループを設置し4回にわたって議論を重ね、当業界の会員に有益なベンチマークの設定ができるよう取組んだ。

また、2017年2月24日からスタートしたプレミアムフライデーについては、経済産業省や業界団体と連携して対応、プレミアムフライデー推進協議会や経団連の会議等で意見交換をするとともに、SC業界用ロゴやポスターの製作など積極的に協力し推進した。

また、行政施策への協力や行政情報等の収集も外部各種委員会への参画などにより幅広く行い、協会ホームページなどにより情報提供と周知を図った。

### (2) 事業報告

#### 1) 東日本大震災・熊本地震復興への長期的な支援の継続実施

東日本大震災復興支援活動の継続的活動として、2018年2月と3月に協会が仲介する形で会員の2SCにおいて「東日本大震災復興支援イベント」が開催された。協会は後援と広報等によるPR活動を実施した。また、SCビジネスフェア会場では、被災地のポスター掲出とパンフレットを配布し、被災地の復興支援に協力した。

さらに、協会会員のご協力により、被災地の福島県いわき市久ノ浜町に2017年4月20日オープンした「浜かぜきらら」にSCテナントスタッフハンドブック20冊を寄贈し、営業の支援を行った。

#### 2) 2018年度税制改正要望

「外国人旅行者向け消費税免税制度の拡大」、「消費税の総額表示及び外税表示方式の継続」「パート従業員の非課税限度額(103万円)の引き上げ」「土地等(商業地等)に係る固定資産税の負担調整措置の延長」の4件について要望。免税制度と固定資産税については、要望した方向で採択された。

### 3) 公共的施策への取り組み強化

2017年2月24日からスタートしたプレミアムフライデーについては、経済産業省と連携して対応、「プレミアムフライデー推進協議会」に参画しその取り組みや進め方などについて意見交換をするとともに、SC業界用ロゴやポスターを製作した。また、「改正民法(債権法)」について説明会を開催、協会ホームページでも情報提供した。その他に、政府、自治体等の委員会に参画し、意見を述べた。

### 4) 人材確保への取り組み

「販売職への外国人労働者への門戸開放」について、政府や他団体等の取り組み状況をについて情報収集を進めた。

### 5) 「心のバリアフリー」の取り組みへの協力

経済産業省と調整しつつ、「心のバリアフリー」を推進するため、関係団体と連携しつつショッピングセンター向け接遇マニュアル(案)の作成を進めている。

### 6) 消費税に関する研究

2019年10月1日に導入が予定されている消費税軽減税率に関して、東京都の消費税軽減税率制度実施協議会に参画し、実務面の対応を中心に情報収集を図り研究を続けていくとともに、消費税軽減税率対策補助金制度継続について周知を図った。

### 7) ベンチマーク制度について

業務部門のベンチマーク制度に関し、資源エネルギー庁において3回のワーキンググループの会合が開催され、目指すべき水準(ベンチマーク)等の審議が行われ、検討に用いたサンプルデータにおいて上位15%が達成できる水準である0.0305(kl/m<sup>3</sup>)に設定することが適当であるとの案が決定された。

これを受け、ショッピングセンター業界に関するベンチマーク制度が告示される予定である。

### 8) 2017年度エネルギー量実態調査(2016年分)の実施

2013年以降の「SC業界における環境対策の取り組み」において、SC業界では、基準年2005年のエネルギー原単位0.182kWh/m<sup>2</sup>・hに対し2013~20年の8年間でエネルギー原単位を13%削減することを目標とした。

調査の結果、2017年度(2016年実測値)は0.118kWh/m<sup>2</sup>・hとなり、前年度0.120kWh/m<sup>2</sup>・hから1.7%削減された。参加企業数は昨年度の97社・479SCから92社・464SCとなった。なお、本調査結果は例年どおり経済産業省に提出した。

### 9) 生活者と協働した環境問題への取り組み

昨年同様、環境省が参加を呼びかけているクールシェア、ウォームシェアに賛同する会員企業に参加を依頼した。また、今年度も協会が作成したクールシェア、ウォームシェアのポスターデータを会員企業に提供し、SC館内での掲示などに活用され、地域生活者らへの情報発信に役立てた。

また、食品ロス削減に向けて、農林水産省食料産業局の河合食品産業室長を講師に招き、勉強会を開催した。

## 3. 国際委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### (1) 第1回委員会<7月31日>

##### 1) 報告事項

- ① 前回委員会(2017年3月21日)の報告
- ② 2017年度国際委員会事業計画骨子について
- ③ 免税手続代行カウンターの設置状況について
- ④ 免税手続代行カウンターフォローアップミーティングについて

##### 2) 審議事項

- ① 2017年度国際委員会活動計画(概要)について
- ② インバウンド(訪日客)に関わる研究テーマの検討について
- ③ 国際交流について
- ④ SCビジネスフェア海外ディベロッパー誘致の支援について
- ⑤ 2017年度税制改正要望への対応について
- ⑥ 今後の委員会活動の検討について

#### (2) 第2回委員会<10月6日>

##### 1) 報告事項

- ① 前回委員会報告
- ② ICSC(国際SC協会)日本SCツアー参加者との交流について

##### 2) プレゼンテーション

- ① 「インバウンドとショッピングツーリズム」  
(一社)ジャパンショッピングツーリズム協会 専務理事 新津 研一 氏

##### 3) 審議事項

- ① 今後の委員会の活動について
- ② インバウンド(訪日客)に関わる研究テーマの検討について

#### (3) 第3回委員会<12月7日>

##### 1) 報告事項

- ① 前回委員会報告
- ② APRC(アジア太平洋調査委員会)会議/REConアジア太平洋について
- ③ 中国・成都市ビルディング経済促進会一行との交流について

##### 2) 審議事項

- ① ビジネスフェア国際委員会主催セミナーについて
- ② 今後の委員会活動について

#### (4) 第4回委員会<3月6日>

##### 1) 報告事項

- ① 前回委員会報告
- ② SCビジネスフェア2018国際委員会主催セミナーについて
- ③ 免税に関して
- ④ 2017年度活動総括及び収支見込について

##### 2) 審議事項

- ① 2018年度基本方針及び事業計画骨子(案)について
- ② 2018年度基本方針の整理と実施策
- ③ スケジュール
- ④ 2018年度収支予算(案)について

## 2. 主な活動報告

### (1) 総括

2017年は訪日外国人旅行者数が前年比19.3%増の2,869万人となり、旅行消費額も前年比17.8%増の4兆4,161億円と、過去最高となった。また、モノ消費からコト消費への移行などの消費行動の変化も見られた。

こうしたなか、2017年度は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、あるいはポスト五輪を見据えて、インバウンド対応を中心として、情報提供を行った。また、委員会設置から5年目を迎えるなか、今後の活動内容について改めて検討を進めた。

### (2) 事業報告

#### 1) インバウンド(訪日客)に関わる研究・対策等

##### ① 免税売上げの状況について

夏と冬に実施している定例記者懇談会にあわせて、免税手続代行カウンターを設置しているSCを中心に免税売上げの状況をヒアリングした。

##### ② 免税手続代行カウンターフォローアップミーティングについて

2017年7月12日、免税手続代行カウンターの設置にあたり観光庁の会議への出席などお力添えをいただいた会員企業の方々にお集まりいただき、免税手続代行カウンターフォローアップミーティングを行った。

インバウンド対応の現状や、免税売上げ及び件数、免税店舗数の状況、免税カウンターの現状(運営面など)、今後のインバウンド対応の方向性などをテーマとして意見交換を行った。

免税カウンターの課題としては、ディベロッパーとテナント、あるいはお客様を含めた「費用負担」を挙げた企業が多かった。また、カウンタースタッフの人件費高騰やカウンターの効率的な運営、カウンターに参画するテナントが増えないという点も挙げられた。

##### ③ SCビジネスフェア国際委員会主催セミナーについて

国際委員会の活動の1つである「インバウンド対策に関する情報提供」の一環として、1月にパシフィコ横浜で開催したSCビジネスフェアの中で国際委員会主催セミナーを行い、受講者数は102名であった。

パネリスト

新津 研一 氏 (一社)ジャパンショッピングツーリズム協会 専務理事/事務局長  
株式会社USPジャパン 代表取締役社長

平山 仁資 氏 (株)JR東日本青森商業開発 成長事業戦略室室長兼営業部次長  
地域活性化グループ GL

下田 圭一 氏 福岡地所(株) キャナルシティ博多事業部 部長  
コーディネーター

高野 稔彦 氏 住商アーバン開発(株) 代表取締役社長 (国際委員会委員長)

##### ④ 免税手続代行カウンターの設置状況について

2018年3月末時点で、SCに設置されている免税手続代行カウンターは37ヶ所(24社)。

#### 2) 国際交流

##### ① APRC (Asia-Pacific Research Committee)

ICSC(国際SC協会)が主催するアジア太平洋地域の調査委員会であるAPRCが2017年10月23日にタイ・バンコクで開催され、高野委員長と事務局員が出席した。参加者は、アメリカ(ICSC)、シンガポール(調査会社)、マレーシア(不動産コンサルタント)、フィリピン(DV・AyalaLand社)の調査担当者である。主な内容は、①ICSCからの報告事項、②APRC参加メンバーからのプレゼンテーション、③APRCメンバー運営方針について。

##### ② REConアジア

2017年10月23日～25日にタイ・バンコクで開催され、高野委員長と事務局員が出席した。今回のテーマは“Determine your destiny!”。

ECの伸長が注目されているが、アジア太平洋地域においては、小売売上のうち実店舗での売上げは86.5%を占めており、SCは依然として主要なチャネルであることや、ミレニアル世代がマーケットで重要なターゲットであり、ミレニアル世代について理解を深めることが大切であるといった報告があった。

##### ③ ICSC(アジア・シンガポール)日本SCツアー参加者との交流

ICSC(アジア・シンガポール)が2017年9月4日～9日に東京、大阪で日本のSC視察ツアーを実施し

た。参加人数は 28 名 (DV22 名、サポート関連 5 名、ICSC1 名)。視察先での概要説明を各施設担当者から伺いたいとの要望に答え、当協会より各施設のディベロッパーに協力の依頼をした。

当協会においても、ツアー参加者との交流を兼ねて、日本のSC市場についてプレゼンテーションを行うとともに、ICSCからアメリカのSC市場及びICSCの活動についてのプレゼンテーションをしていただいた。

#### ④中国・成都市ビルディング経済促進会一行との交流

商業施設への投資などを進める非営利団体である「成都市ビルディング経済促進会」が、2017年11月28日～12月2日に、日本の最新の商業施設、ビルディングの投資や管理を学ぶ視察ツアーを実施した。訪問メンバーは28名。一般社団法人日中経済貿易センター様を通じて、当協会との交流の依頼があり、11月29日に協会事務所にて対応した。日本のSC発展の概略等を伺いたいとの要望に応え、日本のSCの歴史と特徴、現況、当協会の概要についてプレゼンテーションを行った。

#### 3) 今後の活動内容に関する検討

2013年度に当委員会が設置された後、インバウンド対策の一環として免税手続代行カウンターを設置に注力してきたが、これが一段落したところで、2017年度は、今後の活動内容について改めて検討を進めた。訪日外国人が年々増加し続け、国内消費をけん引している中、地方を含めたSCのインバウンド対応を推進するため、「インバウンドに関する情報提供」を軸に、これまでの「国際交流」と合わせて活動を進めていくこととなった。



## 4. 人材育成委員会

### 1. 委員会開催状況及び審議事項

(1) 第1回委員会<4月25日>

- ① 通信教育 2016 年度学校長賞候補者について
- ② セミナー企画(案)(8~9月実施予定セミナー)について
- ③ 海外研修ツアー企画(案)(9月欧州・11月米国東海岸)について

(2) 第2回委員会<6月28日>

- ① セミナー企画(案)(10~12月実施予定)について
- ② 海外研修ツアー企画(案)(11月欧州)について

(3) 第3回委員会<10月10日>

- ① セミナー企画(案)(2~3月実施予定)について
- ② 海外研修ツアー企画(案)(2月豪州、3月米国西海岸)について
- ③ SC アカデミーについて

(4) 第4回委員会<12月15日>

- ① 2018 年度基本方針(案)及び事業計画(案)について
- ② 2018 年度セミナー企画(案)(4~6月実施予定・トップフォーラム)について

(5) 第5回委員会<3月9日>

- ① 2018 年度基本方針(案)及び事業計画(案)について
- ② 2018 年度セミナー企画(案)(7~9月実施予定)について

### 2. 主な活動報告

(1) 総括

セミナーについては人材確保、インバウンド対応など SC 業界の重点テーマを継続的に取り上げ、43 本を計画。2017 年度の収支改善を目指して、2018 年 3 月に 2 本のセミナー(人手不足対策セミナー、SC 飲食・食品ゾーン活性化セミナー)を追加し、45 本を開催した。延べ参加者数は 1,747 名と、目標(1,843 名)に対して ▲96 名という結果であった。傾向としては定番の新入社員向けの基本セミナーやリーシング・契約関連のセミナー、その他、飲食・食品関連、施設管理に関するセミナーの受講者が多く、好評であった。

海外研修については「米国東海岸」「アジア」「豪州」「米国西海岸」の 4 本を計画したが、3 月に予定した米国西海岸ツアーは申込者が少なかったため、やむなく催行中止とし、3 本を催行。9 月の米国東海岸(シカゴ・ニューヨーク)には 35 名が参加。目標を 5 名上回り、研修内容も好評であった。11 月のアジア(クアラルンプール・ホーチミン)は 12 名(目標 20 名)、2 月の豪州(シドニー・メルボルン)は 20 名(目標 25 名)であった。研修内容は共に好評であったが、米国や欧州と比較するとニーズは薄い。中止した米国西海岸は申し込みが 8 名と少なく、2 月開催の豪州と募集期間が重なったことにより集客に大きく影響したと考えられる。

SC アカデミーの第 11 期は受講生 43 名でスタートした。この期より「SC 経営実践論」、「特別演習」等、新たな講義テーマやフィールドワークを取り入れ実施した。その他「SC 序論(合宿)」、「SC 総論 I」、「SC 総論 II」については第 10 期を踏襲し、全 5 コースを実施した。各コースのフォローアップや卒論指導を目的にゼミも例年通り実施した。

## (2)事業報告

### 1)セミナー

| 年度     | 開催数 | 延べ参加者数(a)<br>(1回当たり平均参加者数) | 目標人数(b)<br>(1回当たり平均参加者数) | 比較増減<br>(a)-(b) |
|--------|-----|----------------------------|--------------------------|-----------------|
| 2017年度 | 45本 | 1,747名(38.8名)              | 1,843名(42.8名)            | -96名            |
| 2016年度 | 45本 | 1,976名(43.9名)              | 2,081名(46.2名)            | -105名           |

### 2)海外研修

| 年度     | 開催数      | 参加者数  |       |         |
|--------|----------|-------|-------|---------|
|        |          | 実績(a) | 目標(b) | (a)-(b) |
| 2017年度 | 3回(計画4回) | 67名   | 75名   | -8名     |
| 2016年度 | 2回(計画3回) | 68名   | 67名   | 1名      |

※2017年度の米国西海岸ツアーは参加申込者少数のため中止とした

※2016年度のアジアツアーは参加申込者少数のため中止とした

| ツアー名  | 開催期日             | 訪問都市                    | 参加者数  |       |         |
|-------|------------------|-------------------------|-------|-------|---------|
|       |                  |                         | 実績(a) | 目標(b) | (a)-(b) |
| 第135回 | 9/29～10/5(7日間)   | 米国東海岸<br>(シカゴ、ニューヨーク)   | 35名   | 30名   | 5名      |
| 第136回 | 11/24～11/29(6日間) | アジア<br>(クアラルンプール・ホーチミン) | 12名   | 20名   | -8名     |
| 第137回 | 2/12～2/18(7日間)   | 豪州<br>(シドニー、メルボルン)      | 20名   | 25名   | -5名     |

### 3)通信教育

(人)

| 講座名      | 2017年度 |       |                 | 2016年度 |       |                 |
|----------|--------|-------|-----------------|--------|-------|-----------------|
|          | 実績(a)  | 目標(b) | 比較増減<br>(a)-(b) | 実績(a)  | 目標(b) | 比較増減<br>(a)-(b) |
| SC開発講座   | 195    | 170   | 25              | 179    | 180   | -1              |
| SC管理運営講座 | 582    | 556   | 26              | 523    | 510   | 13              |
| 合計       | 777    | 726   | 51              | 702    | 690   | 12              |

### 4)SCテナントスタッフハンドブック

販売数 234冊(予算658冊 2016年度実績642冊)

### 5)サポート関連(研修講師派遣)

実施数 571件(予算500件 2016年度実績533件)

### 6)SCアカデミー

第11期は受講生43名でスタートした。この期より「SC経営実践論」、「特別演習」等、新たな講義テーマやフィールドワークを取り入れ実施した。その他「SC序論(合宿)」、「SC総論Ⅰ」、「SC総論Ⅱ」については第10期を踏襲し、全5コースを実施した。各コースのフォローアップや卒論指導を目的にゼミも例年通り実施した。2018年4月4日(水)に第11期修了証授与式・第12期開講式を開催した。

## 5. 情報委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### (1)第1回委員会 <7月6日>

- 1) 報告事項
  - ①2017年度基本方針・事業計画
  - ②第1四半期の活動報告
  - ③月刊誌2017年9月号特集について
- 2) 審議事項
  - ①月刊誌2017年10月号特集について
  - ②読者アンケートの実施について
  - ③委託会社(印刷会社)の検討について

#### (2)第2回委員会 <12月7日>

- 1) 報告事項
  - ①4月～12月上旬の活動報告
  - ②読者アンケート報告について
  - ③2017年度4月～10月収支報告
- 2) 審議事項
  - ①2018年度月刊誌年間特集テーマ(案)について
  - ②月刊誌新企画について
  - ③委託会社(印刷会社)の検討について

#### (3)第3回委員会 <3月2日>

- 1) 報告事項
  - ①2017年度事業報告
  - ②2017年度収支見込
  - ③月刊誌特集テーマについて(2018年4月～2019年3月)
  - ④月刊誌特集企画について
- 2) 審議事項
  - ①2018年度基本方針(案)
  - ②情報委員会2018年度事業計画(案)
  - ④「SCJAPANTODAY」電子書籍販売について
  - ⑤月刊誌の会員企業紹介ページについて
  - ⑥2018年度収支予算について

#### (4)編集会議(月刊誌)

下記日程にて8回開催。

7.8 合併月号特集(4月28日)、9月号特集(6月19日)、10月号特集(7月27日)、11月号特集(8月29日)、12月号特集(9月29日)、2018年1.2月合併号特集(10月26日)、4月号特集(2018年2月2日)、5月号特集(2月27日)

## 2. 主な活動報告

### (1) 総括

月刊 SC JAPAN TODAY は、7.8 月合併号にて創刊 500 号を迎えた。「創刊 500 号記念 歴史に学ぶSCの生き残り策」と題して全 500 号を振り返ったほか、特別付録として購入者に当号の電子書籍を半年間公開した。さらに会員企業向け投稿形式の新連載「seeds」を開始した。各号は編集委員ならびに各委員会の協力のもと、実務に直結する事例を中心に紹介している。

広報活動では、協会 Web サイトやメルマガ、プレスリリースを通じて適宜情報発信した。また定例記者懇談会を年 2 回(7 月・12 月に)開催して SC 動向や協会活動状況について報告し、さらに 2018 年 1 月の SC 全国大会にて記者会見し、「ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針」を発表した。

### (2) 事業報告

#### 1) 月刊誌

##### ①特集テーマ

| 号               | 特集   |
|-----------------|--|
| 4月号             | SCデジタル革新～見える化で適時適材～  |
| 5月号             | ママ・パパよるこぶ快適施設～ディベロッパーがもてなす“共用部”                            |
| 6月号             | 多様化時代に選ばれるSCへ～発信せよ！販売職の魅力～                                 |
| 2017<br>7、8月合併号 | 特集1 創刊500号記念 歴史に学ぶSCの生き残り策<br>特集2 決定!! 第7回日本SC大賞 第5回地域貢献大賞 |
| 9月号             | 備えよ！SC立地特性に応じた災害対策 ～逃げ込む視点と逃げ出す視点～                         |
| 10月号            | インバウンド 次の一手は？～受入整備から価値創造のフェーズへ～                            |
| 11月号            | “ヘルシーな私”に勝機あり～生涯顧客を創造せよ！～                                  |
| 12月号            | SC、リニューアルで活つ ～ファッションビルの進化、キーテナントの退店を好機に                    |
| 1.2月合併号         | 若者世代攻略のヒント ～スマート消費時代の“モノ”戦略～                               |
| 3月号             | 第42回日本ショッピングセンター全国大会                                       |

##### ②新連載「seeds」

- 第 1 回「ピクチャレスクな SC づくり」
- 第 2 回「第 4 次産業革命の『場』としての SC の可能性」
- 第 3 回「人を魅了する ～ヒトをつくる経営理念～」
- 第 4 回「消費行動の鍵は“プレスイッチ”にある」
- 第 5 回「まだまだ足りない我が国の FREE-Wi-Fi 環境」
- 第 6 回「改めて『サードプレイス』を考えてみる」

#### 2) 広報活動

##### ①定例記者懇談会

- 第 1 回:7 月 28 日(金)
  - ・2017 年上期のSC動向
  - ・オープン SC、2017 年下期オープンの状況
  - ・人材確保対策
  - ・SC 接客マイスター
- 第 2 回:12 月 21 日(木)
  - ・2017 年のSC動向、販売統計調査報告
  - ・2017 年オープンSCの概要

- ・2018年オープン予定のSC等商業施設一覧
- ・SC業界人材確保対策の取組み

②記者発表会（2018年1月24日）「ショッピングセンターES宣言・行動指針」

- ・「ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針」の説明

③ニュースリリース配信

- ・販売統計(4月～2018年3月) 12回
- ・SC大賞、定期総会、ES宣言 各1回
- ・定期記者懇談会 2回
- ・接客ロールプレイングコンテスト 4回
- ・全国大会 2回 計23回
- \*記者クラブへの投げ込み 各182件(5月、7月、11月)  
 (東商記者クラブ30件、国土交通省記者会80件、国土交通省交通運輸記者会15件、  
 国土交通省建設専門誌記者会20件、神奈川県政記者クラブ15件、静岡県政22件)

④メルマガ配信

毎月末に配信。主な内容は協会活動、セミナー募集等。配信数は約5500/回。

\*2017年4月～2018年3月

⑤取材対応

- ・フジテレビ・とくダネ!「木曜の小倉家」(5/1):SCの売上高推移
- ・富士山経済新聞・ヤフーニュース(5/11):日本SC大賞(御殿場プレミアム・アウトレット)
- ・遊都総研.com(5/7):日本SC大賞
- ・山口新聞(6/16):日本SC大賞(ザ・モール周南)
- ・タウンニュース(6/16):港北版情報誌/WEB:日本SC大賞(トレッサ横浜)
- ・東洋経済新報社(6/27):週刊東洋経済/アパレル(主に婦人服)の不調に対するSCの影響
- ・日経MJ(9/5):SC動向、賃料等
- ・商業界オンライン(9/27):2020年の小売業界の行方、SCの役割、協会の取組み
- ・毎日新聞(長野支社)(9/15):SCの新設動向、長野の中心地域のSCについて
- ・日経新聞(9/25):渋谷109の売上について
- ・NHK(10/3):SCの動向(開業、閉鎖、特徴など)
- ・NHK(10/6):SCの売上高、客数について
- ・ウェブメディア「オトナンサー」(11/1):接客について
- ・織研新聞「新春インタビュー」(11/27):接客について
- ・朝日新聞(12/20):「タウンモールリスポ」閉店について
- ・週刊ダイヤモンド(12/22):SC情報、特に郊外型について
- ・日本テレビ(1/26):SC接客ロールプレイング全国大会

## 6. 調査研究委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### 【調査研究委員会】

##### (1) 第1回委員会 <7月25日>

- 1) 報告事項
  - ① 前回委員会の報告
  - ② 2017年度調査研究委員会事業計画骨子について
  - ③ SC白書2017および各種報告書について
  - ④ 月間SC販売統計調査報告
  - ⑤ 2017年上期オープンSCについて
- 2) 審議事項
  - ① 2017年度事業計画の実施スケジュールについて
  - ② 月間SC販売統計調査について
  - ③ 賃料・共益費調査の実施について
  - ④ 夏期バーゲン調査の実施について
  - ⑤ 「人材確保対策の取組み」に関する調査について
  - ⑥ SC用語辞典の改訂について

##### (2) 第2回委員会 <11月30日>

- 1) 報告事項
  - ① 前回委員会の報告
  - ② SC販売統計調査報告
  - ③ 2017年夏期バーゲンセール調査報告
  - ④ 2017年オープンSC調査報告
  - ⑤ 各種出版物の販売報告
- 2) 審議事項
  - ① 賃料・共益費調査結果について
  - ② 人材確保対策の取組みに関する調査について
  - ③ SC用語辞典の改訂について
  - ④ 年末・年始販売統計調査について
  - ⑤ SC白書2018の構成について

##### (3) 第3回委員会 <3月16日>

- 1) 報告事項
  - ① 前回委員会報告
  - ② SC販売統計調査報告
  - ③ 各種出版物の販売報告
  - ④ 人材確保定量調査結果について
  - ⑤ 2017年度調査研究委員会活動総括
  - ⑥ 2017年度調査研究委員会収支見込
- 2) 審議事項
  - ① 2018年度調査研究委員会事業計画(案)
  - ② 2018年度調査研究委員会収支予算(案)
  - ③ SC用語辞典の改訂について

#### 【SC用語等標準化研究小委員会】

##### (1) 第1回小委員会 <4月25日>

- 1) 審議事項
  - ① 用語選定の考え方について(確認)
  - ② 削除候補の選定について
  - ③ 新語候補の選定について
  - ④ 今後の対応について

(2)第2回小委員会 <6月29日>

1)審議事項

- ① 新語/削除の選定結果について
- ② 修正用語の検討について
- ③ 執筆について

(3)執筆状況確認会議 <8月30日>

1)審議事項

- ① 今後のスケジュールについて
- ② 執筆にあたっての意見交換

## 2. 主な活動報告

### (1)総括

2017年度事業計画で予定したSCオープン情報や計画情報の提供、SC白書の作成、既存調査(SC販売統計調査、賃料・共益費調査)、2015年度から開始した人材確保定量調査の継続調査(3回目)を実施した。また、SC用語辞典の改訂作業を進めた。

### (2)事業報告

#### 1) 調査・分析活動

##### ①SC販売統計調査【毎月WEBサイトに掲載】

2017年(暦年)既存店売上高前年比: +0.6%

##### 【(各月)SC既存店売上高前年比の推移】

|       |     |       |     |       |     |       |
|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| 2017年 | 4月  | +2.1% | 5月  | +0.1% | 6月  | +0.9% |
|       | 7月  | +0.6% | 8月  | +1.9% | 9月  | +1.4% |
|       | 10月 | ▲0.4% | 11月 | +2.5% | 12月 | +1.6% |
| 2018年 | 1月  | ▲0.2% | 2月  | +1.1% | 3月  | +2.2% |

##### ②夏期バーゲンセール調査の実施【WEBサイトに掲載】

2017年夏期バーゲンセールの販売動向について会員企業にアンケート調査を行った。

##### ③2017-2018年末年始販売統計調査の実施【WEBサイトに掲載】

2017-2018年末年始の販売動向について会員企業にアンケート調査を行った。

#### 2) SC賃料・共益費調査 2017

2017年12月に発刊し協会WEBサイト内の会員ページに掲載した。また、会員外向けにCD-ROMを製作し販売した。有効回答SC数は331SC。

#### 3) SC白書 2017【5月25日発行】

テーマ/『価値観の多様化・自己変革するSC』

コンテンツ/1. 2016年のSC業界動向、2. 第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞受賞SC一覧、  
3. 海外のSC概況、4. 資料編

#### 4) SCオープン、計画情報およびSC基礎データ一覧の更新

#### 5) 「人材確保対策の取組み」に関する調査

2015年度からの継続調査として実施した。結果をWEBサイト内の会員ページに掲載。

#### 6) SC用語辞典改訂

SC用語辞典の改訂作業を進めた。SC用語等標準化小委員会において、用語の選定ならびに執筆作業を行った。

## 7. SC 経営士委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### 【SC 経営士委員会】

- (1) 第1回委員会(6月23日)
  - ①SC 経営士試験実行委員会および第26期試験のスケジュールについて
  - ②2017年度SC 経営士登録更新の日程・会場・講師について
  - ③2017年度SC 経営士会の体制および活動について
  - ④SC 経営士委員会とSC 経営士会の役割について
- (2) 正副委員長会議(8月31日)
  - ①SC 経営士委員会、SC 経営士会の課題および今後の方向性
- (3) 第2回委員会(9月15日)
  - ①第26期SC 経営士一次試験結果について
  - ②二次試験論文テーマ(案)について
  - ③二次試験口頭試問について
  - ④SC 経営士委員会とSC 経営士会の今後の役割と位置づけ
  - ⑤SC 経営士規約の検討について
  - ⑥SC 経営士会 活動予定について
- (4) 第3回委員会(12月14日)
  - ①第26期SC 経営士二次試験結果について
  - ②2018年度基本方針(案)について
  - ③今後のSC 経営士会活動予定について
- (5) 第4回委員会(3月2日)
  - ①SC 経営士委員会とSC 経営士会の役割と組織について

#### 【SC 経営士試験実行委員会】

- (1) 第1回委員会(5月12日)
  - ①第26期SC 経営士試験問題項目について
- (2) 第2回委員会(6月23日)
  - ①第26期SC 経営士試験問題について
  - ②二次試験について
- (3) 第3回委員会(7月14日)
  - ①試験問題と解答の精査について
  - ②二次試験論文テーマ(案)について
  - ③試験当日の試験監督官について
  - ④マークシート採点時について
  - ⑤一次試験から二次試験までの日程
- (4) 第4回委員会(9月15日)
  - ①第26期SC 経営士一次試験結果について
  - ②二次試験論文テーマ(案)について
  - ③二次試験口頭試問について
- (5) 第5回委員会(12月14日)
  - ①第26期SC 経営士二次試験結果・合否判定について
  - ②第26期SC 経営士試験の反省点と課題について
- (6) 第6回委員会(3月15日)
  - ①2018年度年間スケジュール(案)について
  - ②第27期SC 経営士試験受験案内について
  - ③SC 経営士試験問題作成マニュアルについて
  - ④問題作成の体制について



## 2. 主な活動報告

### (1)総括

本年度は、2013年5月に協会組織の中に移行されたSC経営士会とSC経営士委員会の役割と位置づけについて、次の3項目を中心に検討を行い、その結果を総務委員会および上部会議体の上申することになった。①SC経営士会の活動について、②SC経営士会の今後の役割と事業内容、③SC経営士会の位置づけ。

また、第26期SC経営士試験は214名が受験し、合格した49名が新たにSC経営士として登録され、2017年度登録更新講習は対象者69名中68名が登録更新された。

SC経営士会は研鑽と交流を目的に、春、夏、秋、冬の4回の例会と各ブロックにおいてセミナーを実施した。

### (2)事業報告

#### 1)第26期SC経営士試験

一次試験(9月7日/東京・大阪)は214名が受験し55名が合格(合格率25.7%)。二次試験は「一次試験合格者」を含め63名が受験対象となり、その内11名がSCアカデミー修了生につき二次試験が免除された。3名が辞退し、二次試験を49名が受験した。論文、口頭試問(12月6日(大阪)・12月8・9日(東京))を総合的に検討した結果、38名が合格(合格率77.6%)、免除対象者11名と合わせた49名が最終合格者となった。これで、SC経営士は総計617名となる。また、1月24日～26日に開催された第42回日本ショッピングセンター全国大会初日に、認定証授与式が行われ、清野会長より認定証が授与された。

#### 2)2017年度SC経営士登録更新講習

2017年度更新対象者の更新状況(単位:名)

|   | 対象者 | 前年度<br>受講 | 今年度<br>受講 | 論文<br>提出 |
|---|-----|-----------|-----------|----------|
| 2017年度更新対象者<br>※有効期間:2013年4月1日～2018年3月31日 | 69  | 20        | 46        | 2        |

#### 【参考】

第1単元 テーマ:『形を変えていく世界の流通』

講師:(株)野村総合研究所 主席コンサルタント 辻 直志 氏

第2単元 テーマ:『米国のオムニチャネル戦略の現状』

講師:(株)野村総合研究所 主席研究員 藤野 直明 氏

大阪会場:9月6日(水)13:20～18:30 会場:大阪地下街(株)・会議室

東京会場:10月17日(火)13:20～18:30 会場:日本SC協会・会議室

#### 3)冠講座への協力

大学での冠講座(寄附講座)について、SC経営士会と連携し、講師派遣に協力した。

| 実施時期 | 大学名    |
|------|--------|
| 前期   | 西南学院大学 |
| 前期   | 桃山学院大学 |

## 8. 全国大会実行委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### 【全国大会実行委員会】

##### (1) 第1回委員会<6月27日>

- ①SCビジネスフェア 2018 出展募集について
- ②主催者企画のテナントゾーン「発見マルシェ(仮称)」について
- ③有料・無料セミナーの企画について
- ④第7回 SC 業界研究イベントの開催について

##### (2) 第2回委員会<9月26日>

- ①インキュベートブース出展について
- ②シンポジウム・セミナーについて
- ③SC 業界研究イベントについて
- ④主催者企画「発見マルシェ」について
- ⑤海外ディベロッパーブースについて
- ⑥展示ホールのゾーニングについて
- ⑦併催イベントについて

##### (3) 第3回委員会<11月29日>

- ①開催までの準備スケジュールについて
- ②併催イベント企画について
- ③来場者募集活動について
- ④インキュベート出展について
- ⑤SC 業界研究イベントについて
- ⑥当日の運営について
- ⑦有料・無料セミナー(シンポジウム・セミナー)について

##### (4) 第4回委員会<2月28日>

- ①SCビジネスフェア 2018 の開催結果について
- ②SCビジネスフェア 2019 事業計画骨子(案)および収支予算(案)について

#### 【リーシング小委員会】

##### (1) 第1回小委員会<5月16日>

- ①リーシング小委員会活動方針
- ②主催者企画のテナントゾーン(仮称)について
- ③出展募集活動計画(目標:テナント145小間、海外DV誘致)
- ④ICSC RECon のラスベガスへの委員派遣について

##### (2) 第2回小委員会<7月8日>

- ①出展募集活動の進捗状況について
- ②主催者企画「発見マルシェ」について
- ③海外ディベロッパーブースについて

- (3) 第3回委員会<8月30日>
  - ①出展申込の進捗状況について
  - ②主催者企画「発見マルシェ」について
  - ③海外ディベロッパーブースについて
  
- (4) 第4回リーシング小委員会<9月25日>
  - ①主催者企画「発見マルシェ」について
  - ②海外ディベロッパーブースについて

### 【シンポジウム・セミナー小委員会】

- (1) 第1回小委員会<4月19日>
  - ①プログラムおよびセミナー企画について
  - ②懇親パーティーの会場について
  - ③有料セミナーの参加料金について
  
- (2) 第2回小委員会<6月20日>
  - ①プログラムについて
  - ②有料セミナーの参加形態および参加料について
  - ③講演料について
  - ④広告募集について
  - ⑤懇親パーティー会場について
  
- (3) 第3回小委員会<9月21日>
  - ①プログラムについて
  - ②参加者募集について
  
- (4) 第4回小委員会<11月24日>
  - ①当日の運営について
  - ②参加者募集について
  
- (5) 第5回小委員会<2月26日>
  - ①SC ビジネスフェア 2018 シンポジウム・セミナー総括について
  - ②SC ビジネスフェア 2019 計画概要(案)について
  - ③SC ビジネスフェア 2019 有料セミナー・無料セミナー計画(案)

### 【SC 業界合同企業説明会小委員会】

- (1) 第1回小委員会<5月11日>
  - ①第7回 SC 業界研究イベントの実施について
  
- (2) 第2回小委員会<9月13日>
  - ①SC 業界研究イベントコンテンツ内容について
  - ②参加料金について
  - ③SC 業界研究イベント参加企業募集について
  - ④来場学生の募集、告知方法について

(3) 第3回小委員会<11月17日>

- ① イベントプログラムについて
- ② 会場レイアウトについて
- ③ 学生募集について
- ④ 企業募集について

(4) 第4回小委員会<2月20日>

- ① SCビジネスフェア 2018 併催 SC 業界研究イベントの開催結果について
- ② 次回 SCビジネスフェア 2019 併催 SC 業界研究イベントの実施について

## 2. 主な活動報告

### (1) 総括

「革新と共生が未来を切りひらく～SC から元気発信～」をテーマに掲げた。

SCビジネスフェア 2018 の来場者数は、展示ホールで開催した SC ビジネスフェア(商談展示会)および無料セミナーで延べ 55,900 人(前回 55,200 人)。そのうち併設の学生向け SC 業界研究イベント(1月26日開催)の学生参加者は 255 名(前回 2日間開催で 502 名)だった。また、今回は 2 日間の限定企画(1月24日・25日)として、「こだわりの食、雑貨などを集めた「発見マルシェ」(主催者ゾーン)を開催した。展示ホールでは出展者、来場者による活発な情報交流・商談が行われた。隣接するアネックスホールでは有料セミナーや懇親パーティーが開催され、延べ 1,600 名(前回 1,800 名)が参加した。

### (2) 事業報告

#### 1) SC ビジネスフェア

##### ① 展示規模について

・SCビジネスフェア2018 出展者数・小間数 ※( )は前回実績

| ゾーン        | 出展者数     | 小間数      |
|------------|----------|----------|
| ディベロッパー    | 54(50)   | 198(183) |
| テナント       | 64(70)   | 124(148) |
| サポート企業・その他 | 86(83)   | 189(180) |
| 計          | 204(203) | 511(511) |

|        |    |    |
|--------|----|----|
| 発見マルシェ | 15 | 33 |
|--------|----|----|

・SC業界研究イベント 参加企業数

|      |        |        |
|------|--------|--------|
| 参加企業 | 34(41) | 34(41) |
|------|--------|--------|

・総数

|    |          |          |
|----|----------|----------|
| 合計 | 253(244) | 578(552) |
|----|----------|----------|

##### ② 概要

###### a. 新企画「発見マルシェ」

・テナント企業増を目的に、ポップアップ出店からテナントへの成長を目指す企業や、地域産品業者や体験型のコンテンツ事業者などが出展し、会期中、来場者、出展者と活発な情報交換や商談を行

った。

・同会場では、復興支援活動の一環として、東北 3 県と熊本県のポスターやパンフレットも設置し、観光 PR を行った。

b. 学生向け SC 業界研究イベント

・昨年以上に、売り手市場の認識が学生にもあり、動きの早い学生と遅い学生の二極化も影響したせいか、1 日開催で参加学生数は 255 名で、目標の 500 名(前回 2 日間の人数)には届かなかった。  
・ただ、参加企業からは、SC に興味のある学生が多く集まっているというご評価をいただいた。

c. デザインの統一

・出展募集パンフレット、来場者向けリーフレット、会場内のサイン、中央交流コーナー、当日のガイドブック、ショッパーの作成など、前回よりさらに BOX を基調にしたデザインの統一を図り、SC ビジネスフェアのイメージアップにつながるようにした。

2) シンポジウム・セミナー

①全国大会統一テーマである「革新と共生が未来を切りひらく～SCから元気発信～」のもと、時代に合ったタイムリーな講座、著名な講師で企画を展開した。

②全国大会初日懇親パーティーを含む有料セミナーは昨年度と同様にアネックスホールにて 2 日間開催したが、718 名(前回の申込者数 818 名)と前回から 100 名の減となった。また、無料セミナーは例年と同様に展示ホールで 3 日間開催した。講座数が違うため、単純比較はできないが、聴講者数は 3,075 名/30 講座・平均 103 名(前回 3,287 名/28 講座・平均 117 名)で約 200 名の減であった。

③有料セミナーについては、SC シンポジウム①の講師交渉が難航し参加者募集パンフレットに、講師を謳えず、併せて講演テーマに『(仮称)』と併記する講座もあり募集活動の出遅れが生じた。

④前回までの懸案事項であった懇親パーティー会場の手狭さは、セミナー会場をパーティー会場に転換したことにより、手狭感は解消された。

## 9. 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### 【接客ロールプレイングコンテスト実行委員会】

- (1) 第1回委員会 <6月27日>
  - ①第23回支部大会開催要領について
  - ②SC接客マイスター検定制度について
  - ③全国大会審査員候補について(2018年1月26日(金) パシフィコ横浜)
  
- (2) 第2回委員会 <12月12日>
  - ①SC接客マイスター試験 実技試験合否判定について
  - ②支部大会について
  - ③全国大会の運営について
  - ④全国大会競技者の記念写真について
  - ⑤審査時間の活用について
  
- (3) 第3回委員会 <2月27日>
  - ①SC接客マイスター試験における課題について
  - ②2018年度基本方針(案)・事業計画(案)および収支予算(案)について
  - ③SC接客マイスター2017年度試験の合否判定について

#### 【SC接客マイスター試験実行小委員会】

- (1) 第1回小委員会 <12月4日>
  - ①SC接客マイスター検定実技試験合否判定について
  - ②筆記試験について
  - ③今後のSC接客マイスタースケジュールについて
  
- (2) 第2回小委員会 <2月19日>
  - ①SC接客マイスター2017筆記試験について
  - ②SC接客マイスター試験合否判定について
  - ③今後のSC接客マイスタースケジュールについて
  - ④次年度筆記試験問題作成スケジュールについて
  
- (3) 第1回小委員会 WG 会議 <5月31日>
  - ①筆記試験問題の最終精査について
  - ②筆記試験問題確定までのスケジュールについて

## 【実技試験判定基準作成会議】

- (1) 第1回会議 <5月12日>
  - ①新基準対応俳優行動規範説明/研修会について
  - ②専門審査員説明会 2017 について
- (2) 第2回会議 <3月8日>
  - ①ロープレコンテスト新基準2年目の結果について(今期の振り返り)
  - ②ロープレコンテスト新基準次期修正ポイントの検討
  - ③お客様役俳優の教育に関して

## 【接客ロールプレイングコンテスト新判定基準説明会開催】

- (1) 第1回開催 <7月13日>
- (2) 第2回開催 <7月28日>
  - ①説明会開催趣旨
  - ②ロールプレイングコンテスト 2017 スタートにあたり
  - ③2016年度の採点結果の振り返り
  - ④競技方法の再確認
  - ⑤新判定基準の採点試行(2015年支部大会 動画使用)
  - ⑥まとめ

## 【接客ロールプレイングコンテスト新基準対応俳優行動規範説明/研修会】

- (1) 第1回開催 <5月30日>
- (2) 第2回開催 <6月9日>
  - ①目的
  - ②新基準に準拠したお客様役のポイント
  - ③お客様役プロフィールとニーズ設定ワーク
  - ④ロールプレイング実習

## 2. 主な活動報告

### (1) 総括

#### 1) SC接客ロールプレイングコンテスト

2017年9月5日の関東・甲信越大会を皮切りに、全国7支部8地区において開催された支部大会には、531のショッピングセンター(前回:511)から1,056名の競技者(前回:1,012名)が参加。27名の支部代表者が、2018年1月26日(金)開催の全国大会に集結した。

全国大会大賞「SC接客日本一」には「新有楽町ビル」シブスの椛澤翔(かばさわしょう)さんが選ばれた。椛澤さんは、「もう一度この人に接客してほしい」と思わせるような人間力が審査員に評価され、大賞「SC接客日本一」、経済産業大臣賞に選出された。

#### 2) SC接客マイスター検定制度

SC接客マイスター試験には、ロールプレイングコンテスト支部大会に出場した1,056名中、348名の申込があった(受験申し込みのない全国大会出場者17名を含めると365名)。実技試験の結果、355名が合格し、実技試験2級・3級合格者を対象にしたWeb筆記試験後の最終合格者は、1級35名、2級24名、3級217名の合計276名となった(1級は筆記試験免除のため、認定証・バッジ希望者数)。

(2) 事業報告

1) SC接客ロールプレイングコンテスト

①支部大会

| 地区     | 開催日程                             | 会場                      |
|--------|----------------------------------|-------------------------|
| 北海道    | 11月10日(金)                        | JRタワープラニスホール(札幌エスタ 11F) |
| 東北     | 11月1日(水)、2日(木)                   | ホテルメトロポリタン仙台            |
| 関東・甲信越 | 9月5日(火)～8日(金)<br>9月11日(月)～12日(火) | KFCホール(国際ファッションセンター)    |
| 東京     | 9月25日(月)～28日(木)                  | KFCホール(国際ファッションセンター)    |
| 中部     | 10月11日(水)、12日(木)                 | メインホール(名古屋市中小企業振興会館)    |
| 近畿     | 10月2日(月)～5日(木)                   | ホテル京阪京橋                 |
| 中国・四国  | 11月7日(火)、8日(水)                   | 広島YMCAホール               |
| 九州・沖縄  | 11月14日(火)、15日(水)                 | 西鉄ホール(ソラリアステージ 6F)      |

②全国大会受賞者一覧

(敬称略)

| 賞            |     | 氏名    | SC名            | 店名          | 支部     |
|--------------|-----|-------|----------------|-------------|--------|
| 大賞・経済産業大臣賞   |     | 椛澤 翔  | 新有楽町ビル         | シップス        | 東京     |
| 食品・飲食・サービス部門 | 優勝  | 米澤 一磨 | イオンモール名取       | 喜久水庵ナゴミ     | 東北     |
|              | 準優勝 | 中井 猛夫 | ビーンズ赤羽         | 角上魚類        | 東京     |
| ファッション・物販部門  | 優勝  | 梅浦 直子 | 武蔵小杉<br>東急スクエア | 有隣堂         | 関東・甲信越 |
|              | 準優勝 | 岩本 紗季 | 阪急西宮ガーデンズ      | キャサリンロス     | 近畿     |
| 審査員長賞        |     | 檜山 由紀 | ゆめタウン廿日市       | ブランシエス シュシュ | 中国・四国  |

※上記受賞者以外のすべての全国大会出場者は、「優秀賞」受賞。

③協賛金 143 口 7,150 千円 (予算:130 口 6,500 千円)



2) SC 接客マイスター検定制度

SC 接客マイスター2017 試験結果(人数)

2017年度(ロールプレイングコンテスト出場者1,056名) (人)

|            | 1級 | 2級 | 3級  | 不合格 | 合計  |
|------------|----|----|-----|-----|-----|
| 実技試験結果(全員) | 40 | 29 | 286 | 10  | 365 |

※受験申込のない全国大会出場者17名含む(1級)



|         |  |    |     |   |     |
|---------|--|----|-----|---|-----|
| 筆記試験受験者 |  | 29 | 284 | / | 313 |
|---------|--|----|-----|---|-----|



|   |    |    |     |   |     |
|---|----|----|-----|---|-----|
| 最終合格者①<br>(1級は認定証・バッジ希望者、<br>2級・3級は筆記試験合格者) | 35 | 24 | 217 | / | 276 |
|---|----|----|-----|---|-----|

※1級は、筆記試験免除

(参考)

【2015年度】(ロールプレイングコンテスト出場者1,013名) (人)

|            | 1級 | 2級 | 3級  | 不合格 | 合計  |
|------------|----|----|-----|-----|-----|
| 2015年度合格者② | 73 | 75 | 135 | /   | 283 |

※2015年度は、ロールプレイングコンテスト出場者1,013名全員を対象に実技試験を審査

【2016年度】(ロールプレイングコンテスト出場者1,012名) (人)

|            | 1級 | 2級 | 3級  | 不合格 | 合計  |
|------------|----|----|-----|-----|-----|
| 2016年度合格者③ | 44 | 50 | 208 | /   | 302 |

【2015～2017年度】 (人)

|                     |     |     |     |   |     |
|---------------------|-----|-----|-----|---|-----|
| 2015～2017年度合格者①+②+③ | 152 | 149 | 560 | / | 861 |
|---------------------|-----|-----|-----|---|-----|

※2014年度以前の1級取得者(全国大会出場者)は55名